

世界に誇る鴨川を子どもたちへ…

京都府鴨川条例（仮称）シンポジウム

第3回京都府鴨川条例（仮称）検討委員会

プログラム

悠久の歴史の中で京文化を育んできた鴨川。京都府では、この世界に誇る鴨川を、安心・安全で、美しく、そして多くの方に親しまれる川として、守り、育み、次の世代に引き継いでいけるよう、条例づくりに取り組んでいます。

そして広い分野の有識者による京都府鴨川条例（仮称）検討委員会を設け、話し合いを進めています。

シンポジウムでは、多くの方々と、鴨川の魅力と課題をともに理解し、住民と行政がともに何ができるのかを考えたいと思います。また、続いて行われる第3回検討委員会では、これまで検討を重ねてきた条例素案についての議論がされます。

日時：平成 18 年 11 月 5 日（日）

シンポジウム 14:00～16:00 / 第3回検討委員会 16:00～18:00

場所：シルクホール（きらっ都プラザ京都産業会館 8 階）

<プログラム>



シンポジウム 14:00~16:00

○オープニング：14:00~14:10

- ・プロローグ～鴨川の魅力と課題～
- ・主催者あいさつ 京都府土木建築部長 森田悦三

○基調講演：14:10~14:40

- ・演題 「これからの鴨川と私たち」
- ・講師 新川 達郎氏（同志社大学大学院 総合政策科学研究科長）

○休憩：14:40~14:50

○パネルディスカッション：14:50~15:45

- ・テーマ 「鴨川に魅せられた私たち」
- ・コーディネーター 金田 章裕氏（京都大学大学院 文学研究科 教授）
- ・パネリスト 小鴨 梨辺華氏（能楽金剛流 師範）／杉江 貞昭氏（鴨川を美しくする会 事務局長）／砂田 信夫氏（京都市教育委員会 指導部長）／田中 真澄氏（岩屋山志明院 住職）／槇村 久子氏（京都女子大学大学院 現代社会研究科 教授）

○会場との意見交換等：15:45~16:00

終了：16:00

第3回検討委員会 16:00~18:00

○京都府鴨川条例（仮称）第2次素案の検討

座長：金田 章裕氏	京都大学大学院 文学研究科 教授
委員：石田 隆一氏	京都商工会議所 都市美化・環境対策特別委員会 委員長（欠席）
川崎 雅史氏	京都大学大学院 工学研究科 助教授
芝池 義一氏	京都大学大学院 法学研究科 教授
関根 英爾氏	京都新聞社 論説委員
田中 真澄氏	岩屋山志明院 住職
戸田 圭一氏	京都大学防災研究所 教授
新川 達郎氏	同志社大学大学院 総合政策科学研究科長
槇村 久子氏	京都女子大学大学院 現代社会研究科 教授

※時刻は予定ですので、多少ずれる場合があります。

<プロフィール>

川を舞台に NPO 法人の代表として住民活動を実践

にいかわ たつろう
新川 達郎氏（同志社大学大学院 総合政策科学研究科長）

東北学院大学助教授、東北大学助教授などを経て、2003 年から現職。政府や地方自治体の制度に関する分析とその改革、行政における住民参加について研究するとともに、京都府府民参画行動指針検討委員会座長、京都市政策評価制度評議会会長など歴任。著書に「地域空洞化時代の行政とボランティア」等多数。

京都と京文化を育んだ鴨川の歴史を研究

きんだ あきひろ
金田 章裕氏（京都大学大学院 文学研究科 教授）

京都大学文学部長、副学長を経て、2005 年 9 月から現職。京都において国内外から様々な文化を担う人々を招き、人類の目指すべき新たな方向を議論する「京都文化会議」の組織委員会企画委員長など歴任。著書に「古代日本の景観」「オーストラリア景観史」「古地図からみた古代日本」「古代景観史の探究」等多数。

米国ミシガン州生まれ 世界から、芸術家から見た鴨川

おがも りべっか
小鴨 梨辺華 / オガモ・リベッカ・ティール氏（能楽金剛流 師範）

バーモント州ベニントン大学で演劇及び工芸学科専攻。1972 年に金剛流能楽師宇高通成師に能楽・能面師事し現在に至る。1980 年に能楽金剛流師範免状取得、1996 年に外国人として初めて能楽協会入会（小鴨梨辺華で登録）。現在国際能楽研究会本部事務局長で謡、仕舞、能面制作の指導や能楽の講義などで活躍。著書に「小野小町」（父・兄と共同出版）等。

「自然と共生できる社会」を願ってボランティア団体で活躍

すぎえ さだあき
杉江 貞昭氏（鴨川を美しくする会 事務局長）

河川美化と環境保全の輪を広げるために 1964 年に結成されたボランティア団体「鴨川を美しくする会」で 1982 年より事務局次長、2000 年事務局長に就任し、現在に至る。同会は、結成以来約 40 年の長きにわたり、鴨川クリーンハイクをはじめ自然観察会や鴨川納涼、鴨川茶店などを通じて、鴨川をはじめとする河川の環境保全や美化に関する活動を展開。

京都市内の学校、教育実践の場から届く鴨川への思い

すなだ のぶお
砂田 信夫氏（京都市教育委員会 指導部長）

1997年4月に京都市立百々小学校長から京都市教育委員会地域教育専門主事に。学校指導課長を経て2005年4月から現職。京都の自然や文化、産業などを積極的に学校教育に取り入れ、市民ぐるみ・地域ぐるみで郷土を愛する子どもを育てる教育を展開。

鴨川源流の地、森と川・自然界から心の育成を説く

たなか しんちよう
田中 真澄氏（岩屋山志明院 住職）

高野山に入行、1967年鴨川の源流に位置し、鴨川と関わりの深い岩屋山志明院の住職となり現在に至る。京都水と緑を守る連絡会代表幹事、明日の鴨川の橋を考える会委員、淀川水系流域委員会委員、宇治川保全利用委員会委員、京都創生百人委員会委員、鴨川の自然をはぐくむ会代表など歴任。著書に「ダムと和尚」等。

都市景観と環境問題、まちづくりの研究者から見た鴨川

まきむら ひさこ
横村 久子氏（京都女子大学大学院 現代社会研究科 教授）

京都大学大学院農学研究科博士課程修了。奈良県立商科大学等を経て現職。地球環境関西フォーラム 100人委員、NPO法人淀川さくら街道ネットワーク理事長等。ライフデザインと環境デザイン、地域と地球の再生を一体として考えている。著書に「お墓と家族」「持続可能社会構築のフロンティア」等多数。

お問い合わせ先：

〒602-8570 京都府河川整備管理室 管理担当

TEL :075-414-5290 FAX: 075-432-6312

条例に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。

京都府鴨川条例（仮称）ホームページ「<http://www.kamo-j.net>」

